

## イ)資源の解説

ストーリーを構成する観光資源の内容を印象深く伝えるために、「インタープリテーション」の技法を用います。今回のモニターツアーでは、「やまなし歴史の道」に固有の解説内容や、伝え方の工夫、そ

で暮らしてきた人にとっては当たり前だと思っていた風景が、思いもよらず参加者から好評だったこともありました。一般的な手法は、既述の通りですが、具体的には次のようなことにも気を配ると良いでしょう。

### <解説の対象・内容>

#### ■満足度を高めるポイント

❖追分の人形芝居の実演がガイドツアーに観光活用されるに当たり、支払った旅行代金の一部が文化財の保全継承活動に使われた。披露する場を提供できただけでなく、継承者(笹子追分人形保存会)との交流の場を設けることができた。これにより、継承者とツアー参加者は、観光が文化財の保全と継承に貢献していることを知ると共に、こうした活動に自分が参画していることが喜び・満足に繋がった。 **A1**



甲州街道：鶴川宿で高札を拝見し、所有者から解説を聞く

❖日ごろ目にしている見慣れた「もの」や風景に訪問客が驚いたり、感激したりすることがあった。例えば、葎崎の町中では、商店の前にある「馬つなぎ石」、「前面道路に対して斜めの間口」に驚きの声が聞かれた。また、勝沼のブドウ畑では、葉や枝を燃やした煙が立ちこめた風景に参加者は感激していた。こうした何気無い生活の一コマが、現地に来たという実感と感動をもたらしたようだ。一方で、案内したガイドからは、こんな風景が喜ばれるのかと驚きの声があった。 **A2**

❖甲府では、海産物(煮貝)販売の「みな与」に立ち寄り、直接ご主人から煮貝の歴史や往時の様子について伺った。いずれも地元で暮らす人々の関係性があったからこそ実現できたことであり、地域主体のツアーならではの魅力である。 **A2**



甲州街道：笹子追分人形保存会とツアー参加者の体験交流

❖上野原宿を印象づける大ケヤキは小学校の敷地内にあるが、ガイドの地元であり、関係者ともつながりがあったために、事前に立ち入り許可を得ることができた。上野原の抱瘡神社では、同様の理由でご開帳日ではなかったにも関わらず御開帳いただいた上に、保全継承活動に取り組む地元関係者から直接解説を聞くことができた。また、鶴川宿では、伝統的家屋を継承する主から、代々伝わる貴重な資料(高札や明治天皇巡幸の報告)を開示し、間近で鑑賞させていただいた。 **A3**

❖ミュージアム都留では常設展示していない甲斐絹の着物を特別に見ることができ、機屋見学では実際に織機が動いている様子を見学することができた。ツアーに参加したからこそできる体験は、ツアーの付加価値を高めることにつながり、満足度向上にも寄与する。 **B**

❖自ら生地を選び、自らの手で作り上げる御朱印帳づくりの満足度はとても高く、最初のページに北口本宮の御朱印をいただけただことにも感動していただけた。御師住宅での織物を使った体験、ハタヤさんや御師の家の方から聞くお話など、ツアー全体を通して、富士山によりもたらされた織物・富士信仰を実体験として感じていただくことができた。 **B**



富士道：御朱印帳づくり 表紙となる生地(甲斐絹)選び

❖秩父往還のツアーでは、山梨市教育委員会の文化財担当者を通じて地域関係者との調整をお願いしたところ、社寺等で普段一般公開されていない仏殿や宝物殿、古文書を拝見させていただき、一部では住職等自らによる解説を拝聴することができた。また、個人所有者許可の下、伝統的な古民家の内部を見学させていただいたが、これらは地域と普段から関係構築している方の協力なしには実現できない内容であった。 **C**



秩父往還：貴重な古文書を拝見

❖棒道のツアーでは、石仏の歴史的背景だけでなく、石材の加工法や岩石の種類、性質にまで踏み込んだ説明に、参加者はとても興味を抱いた。明るく快活に解説するガイドの様子から、いかに自分が大好きな研究テーマなのかが伝わり、聞いている参加者の感激はさらに大きくなった。 **D**

❖みのぶ道では、地元ガイドの案内で寺社や門内商店街を訪れたが、ガイドの解説に加えて、こうした寺社の住職による伽藍や歴史の解説があったり、商店主による商品の解説、商店街の歴史やイベント時の様子が伝えられることで、ツアーの魅力が高まった。ガイドの役割として、自身による解説に加えて、こうした人々との「つながり」を活用することも重要。 **E**



棒道：石造物の解説

❖みのぶ道では、久遠寺の上人にツアーに同行いただいた。何気なく通り過ぎてしまいがちなもの(伽藍、仏塔、杉林、切り株など)が、日蓮聖人の足跡や身延山の歴史に深く関わっていることの解説があることで、参加者の理解が深まり、感動につながった。久遠寺で修行をされている上人の話であることがより説得力を増した。 **E**

#### ■気を付けるべきポイント

❖行程内の幾つかの箇所ですポットガイドの方に解説いただいたが、似たような話が複数箇所でも重複してしまった。事前の調整はもちろんのこと、話の流れにおいて重要な内容については、話し始める前に「既にお聞きかもしれませんが、大事なことなので私からもお話ししますね」と言い添えるなどの工夫が必要。 **共通**



みのぶ道：久遠寺上人の解説を聞く